

ぐんまの消防

第39号

令和2年度発行

地域住民の安心・
安全のために

表紙写真 多野藤岡広域消防本部訓練風景

〈主な記事〉

- p 2 団長の熱き思い(館林地区消防組合邑楽消防団長)
 - p 4 群馬県緊急消防援助隊後方支援活動合同訓練
 - p 5 富岡甘楽女性防火クラブ発足
 - p 6 防犯ブザーの救急的活用(桐生市消防本部)
-



団長の熱き思い

住民の安全安心のために



館林地区消防組合 邑楽消防団

団長 大塚 栄彦

邑楽町は群馬県の南東部に位置し、東は館林市、西は太田市、北は栃木県足利市等と隣接し、それらのベッドタウンとして発展してまいりました。

面積は約三十一平方キロメートルで、人口は約二万六千人余り、面積のほとんどが平地で町の東側には多々良沼があり、毎年約二百羽の白鳥が飛来し、近隣住民はもちろん、遠々遠方から白鳥の華麗な姿を見に来られます。また、町の中心部には関東平野を一望できるシンボルタワー「未来MIRAI」があり住民に親しまれています。

さて、邑楽消防団は、三分団十二班、団員百二十一名で構成され、教育訓練に努め、火災予防と同時に水防団としての重責を果たしています。自分たちの街は自分たちで守るという強い精神を基に地元密着の水防団として、火災予防週間中における防火パレードの実施や水防訓練として館林地区消防組合管内の水防団と共に毎年、水防工法習得訓練を実施して水害に備えております。

各種訓練としては、火災を想定した機関員訓練、地域の防災リーダーとしての町の総合防災訓練に参加し、住民に消火器

の使用手法や煙道を使用した避難訓練の指導、地震により家財等が倒れて挟まれたことを想定した救出方法の指導、内水氾濫における水防訓練指導等を実施し、いざ！という時のための普通救命講習は全団員が修了しております。

また、昨年の台風十九号では、近隣の市町に於いて河川の決壊等大きな被害が発生し、当町においても道路冠水や床下浸水等が発生して、河川巡視や道路冠水箇所の排水活動を実施しました。

現在はコロナ禍で各種イベントが中止になり、消防団行事に於いても中止や制限をして感染拡大防止に努めながら活動しているところであります。

全国的に消防団員数が減少し、邑楽消防団でも団員確保が厳しい状況になってきておりますが、消防団の魅力や活動をPRしながら住民の皆さんと協力して団員確保に努め、消防団の重要性が広く認識されていく中、訓練と教養を重ね地域の防災リーダーとして、町と共に住民の安全安心のために、団員個々の能力向上を図り、使命を遂行するために活動していかねばならないと強く考えております。

令和二年度表彰

長年にわたる消防業務のご功績により叙勲及び表彰された方々をご紹介します。

瑞宝小綬章

元高崎市等広域市町村圏振興整備組合 消防正監 江原 博一
元桐生市消防正監 高城 敏夫
元高崎市等広域市町村圏振興整備組合 消防正監 秋本 進

瑞宝双光章

元前橋市消防団 団長 石坂 賢
元神流町消防団 団長 田本 昭人
元神流町消防団 団長 櫻井 利幸
元太田市消防団 団長 宮田 次男

瑞宝単光章

元尾島消防団 団長 飯塚 茂夫
元高崎市消防団 団長 田中 宏
元嬬恋消防団 副団長 小曾戸秀雄
元上野村消防団 団長 堀川光太郎
元伊勢崎市消防団 団長 矢内 昌春

藍綬褒章

館林地区消防組合館林消防団 副団長 相場 隆広
高崎市消防団 副団長 中里 明義
伊勢崎市消防団 副団長 山口 悟

県功労者表彰

太田市消防団 団長 中島 正幸
高崎市消防団 団長 須藤 欣司

県総合表彰

前橋市消防団 副団長 鈴木 伸弘
長野町消防団 副団長 樋田 耕弥
草津町消防団 副団長 黒岩 哲夫
高崎市消防団 副団長 寺崎 正親
元沼田市消防団 副団長 関口 元雄
元みなみ町消防団 副団長 真庭 和徳
桐生市消防団 副団長 粕川 一良
伊勢崎市消防団 副団長 諏訪 耕平
前橋市消防団 副団長 林 道広
南牧村消防団 副団長 石井 尚幸
片品村消防団 副団長 萩原 秀基

県消防協会定例表彰

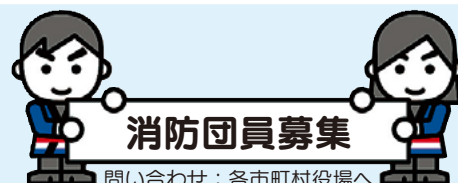
「表彰者総数 三三三四名 三団体」
☆功労章 一三七名(二〇名)
☆永年勤続功労章 三四〇名(四四名)
☆精績章 四六一名
☆精勤章 五七五名
一〇年勤続 四六九名
一五年勤続 四〇一名
二〇年勤続 二六一名(一九名)
二五年勤続 一六二名(三三名)
三〇年勤続 七一名(一一名)
三五年勤続 四五名(二二名)
四〇年勤続 一三名(八名)
四五年勤続 一名

☆永年勤続退職者表彰

三三八名(四〇名)
☆三代伝承等優良消防団員顕彰 一〇名
☆無火災表彰
桐生市消防団桐生方面団第六分団 四年
桐生市消防団新里方面団第四分団 四年
桐生市消防団黒根方面団第二分団 十年

※(一)内は消防職員数で内数

消防団紹介



問い合わせ：各市町村役場へ

前橋市消防団

前橋市は、群馬県の中央部よりやや南に位置し、北に上毛三山の雄である赤城山が位置し、西には利根川が流れております。この地域を管轄する前橋市消防団は団員計一〇七三名(定員一三三〇名)が在籍しており、全二十個分団、六十八台の消防ポンプ自動車を有しております。

年間の主な活動として、災害対応はもちろんのこと様々な風水害を想定した水防訓練、春秋の火災予防広報活動、歳末特別警戒など、地域住民の安全安心を確保するため、日夜活動しております。さらに、災害に強く暮らしやすい地域づくりを目指すため、各自治区で行われている防災訓練や祭り、花火大会などへも参加し、地域住民との交流を図っております。

しかしながら近年は、他の地域



消防団PRブース

同様に雇用形態の変化や消防団へ求められる負担の増加等により、職場や家族の理解を得ることが難しく、団員数が年々減少しております。そのため、地域住民や若い世代の方に消防団に興味を持ってもらおうと市内大学の学園祭や消防隊出初式、その他各種イベントなどで「消防団PRブース」を出展したり、ラジオ番組に出演し消防団の活動を紹介するなど、様々な場面で広報活動を実施しております。各大学の学園祭では、非常食の試食会や消防団活動紹介のDVDを上映しながら、市民が消防団に対してどのようなイメージを持っているかのアンケート調査も実施しました。令和元年度は計五八五件もの回答を得ることができ、様々な意見に触れることができました。この回答結果を踏まえ、今後どのように活動すれば地域住民や若い世代に消防団をもっと知ってもらえるかを検討し、入りやすく活動しやすい消防団を目指していきます。

近年では、台風やゲリラ豪雨による大規模風水災が頻発し、地域の防災リーダーである消防団員への期待もますます高まっています。

今後自分たちの暮らす地域を守るため、地域住民と協力し、住みやすく災害に強い前橋市を目指して活動していきたいと思えます。

高崎市消防団・安中市消防団

群馬県消防協会高崎市等広域支部は、高崎市消防団と安中市消防団で構成されています。

高崎市消防団は、現在合計五十八分団(他一本部)、定員一五二〇人であり、その内、学生分団員五十五人(内二十八人女性)、女性の団員及び分団員十三人が登録しています。本年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を十分に図り、新任分団長研修や機関士会ポンプ取扱い訓練等を実施、また令和二年九月二十七日(日)には、合同放水訓練を高崎市高松町「もてなし広場」において行いました。



合同放水訓練

安中市消防団は、現在合計十四分団(他一本部)、定員五四五人であり、その内、女性団員七人が登録しています。感染症拡大防止対策の徹底に努めながら、新入団員

研修やポンプ運用研修会等を実施、また令和二年七月五日(日)には、安中市水防訓練を安中市宿「西毛総合運動公園野球場東側広場」において開催しました。



水防訓練

コロナ禍の下、両団とも、最小限の規模及び人数による訓練となりましたが、各団員の訓練に取り組む熱心で真摯な姿勢はこれまでと何ら変わることはなく、実践的で非常に充実した訓練となりました。

全国の消防団において、研修や訓練等の活動制限を余儀なくされているところですが、消防団の使命はこれまでと変わりません。今、我々消防団に出来ること、感染症に負けない・屈しない消防団をこれからも維持し、市民の方々の安全を守っていきます。

『群馬県緊急消防援助隊

後方支援活動合同訓練』

七月二十九日(水)、群馬県消防学校において緊急消防援助隊後方支援活動合同訓練を実施しました。この合同訓練では、コロナ禍での大規模災害の発生に備え、大型エアートントを想定した隊員及び傷病者の感染防止策の検討会並びに宿营地での除染活動訓練を実施、県内十一消防本部の意見を交わし、対応能力の向上を図りました。

今後も継続した訓練を開催し、



訓練状況

県内十一消防本部の連携強化を図り、地域住民の安心・安心に努めてまいります。

『警防救助部会の活動』

『群馬県消防長会』

令和二年度は、新型コロナウイルス感染症拡大対策として、活動を自粛しているところです。「パンデミック」という言葉を聞いたことがあっても、まさか、私たちが世界的に流行するウィルスの脅威にさらされるなど、誰が想定できたでしょうか。

想定できないようなことが起こっている

る今日、県内の消防職員が「部会」という旗の下、心を一つにし、まさに同志として災害対応能力を高めることは、県民を守ると同時に、私たちの安全にもつながるものと考えております。

さて、令和元年度の活動紹介となりますが、火災をメインテーマとし、救助活動検討班は屋内進入体系・火災救助事案発表及びR・I・C・T(火災現場で二次災害により助けを必要とする仲間を救助する訓練)を、警防対策検討班は中高層建物火災対応や連結送水管を使用した訓練を実施しました。部会でできないこと、部会だからできることを実践し、県内消防力の向上を目指し、今後も活動していきます。

『新規採用職員に対する教育訓練の実施』

『渋川広域消防本部』

渋川広域消防本部では、群馬県消防学校の初任教育終了後の職員に対し、約一ヶ月間の集中訓練を実施しています。

入職後、現場を一年経験した職員を新規採用職員の指導担当者に任命し、指導内容の熟知及び指導方法を身につけさせ次世代の指導者を育成しています。

今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止から、当初予定されていた群馬県消防学校初任教育の入学が四月八日から八月十一日に変更となり、入学までの四ヶ月間を各消防本部(局)で教育することとなりました。

当消防本部では、それに伴い初任教育終了後に予定していました約一ヶ月間の集中訓練を前倒しし、入学前の四月及び五月の二ヶ月間において、群馬県消防学校から出された課題を含め新規採用職員に対し、消防官としての基礎的な知識や技術を習得させるための教育を行いました。

消防学校で予定されている各教育課程へのスケジュール等に大きな影響はありませんでしたが、入学前の教育を各消防本部(局)が責任を持つて行う事ができたことは、入学する学生だけ



訓練状況

今年度の消防学校入学前教育期間は、入学時期が遅れた分、より効果のある初任教育期間になることと思います。

新型コロナウイルス感染症拡大をきっかけに、人材育成もニューノーマルを考慮し変化し続ける時代に対応していかなければなりません。

当消防本部では、これからも消防組織力の向上に努めてまいります。

でなく、指導者育成にも繋がったことと思います。

さらに、消防学校入校中の教育についても、スタート位置が大きく変化していることでしょう。

一年以上現場を経験してから群馬県消防学校に入校する消防本部(局)もあることから、入学標準化も図れたことと思います。

『群馬県女性防火クラブ』

連絡協議会の概況と取組

群馬県女性防火クラブ連絡協議会事務局

〇はじめに

新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、「関東ブロック女性防火クラブ連絡協議会幹部地域研修会」や、「女性防火クラブ全国集会」など、貴重なクラブ間の意見交換や合同研修の場が相次いで失われていることを、事務局として大変残念に思います。

例年、イベントに関連した内容を御報告していますが、多くが中止となつているため、群馬県女性防火クラブの概況と取組について御説明いたします。

〇概況

女性防火クラブは全国に存在し、家庭での火災予防の知識の習得、地域全体の防火意識の高揚などを目的に地域で活動している組織です。

群馬県女性防火クラブ連絡協議会も同様に、県内女性防火クラブ相互の連絡提携を密にし、防火に関する知識の向上につとめ、県内女性防火クラブの発展を図ることを目的として設置されました。

県内には平成三十一年四月一日現在で、九十三団体、約四万人の女性防火クラブ員が活動しています。全国に目を向けると、全国八〇三五団体、約一二〇万人にもなる非常に大規模な組織となります。全国のクラブ員は、平成八年をピークに

減少傾向となり、以降も減少が続いています。それにとりもなつて、団体数も減少しています。クラブ員や団体数の減少に歯止めをかけることが課題といえます。

また、本県を含めた四十三都道府県に連絡協議会がおかれ、毎年全国を六ブロックに分けての研修会を行うなど、積極的な交流が図られています。

〇取組

本会は、全国のクラブと県内のクラブの橋渡しとしての役割や、県内クラブ相互の連携を強める役割を担っています。役員は県内十一地区の女性防火クラブの代表者からなっており、年に一〜二回役員会を開いて、活動を話し合ったり、情報交換を行ったりしています。

また、各地区女性防火クラブが作成する機関誌への助成や、広報誌への寄稿などの広報活動も行っています。

例年十月頃には県内女性防火クラブ等の幹部・指導者約二〇〇名を対象に指導者育成研修会を実施しており、各地区による活動報告や外部講師による講演などを行い、県内クラブ相互の交流や連携強化を図っています。

〇おわりに

女性防火クラブは地域の防火・防災について重要な役割を担っており、火災や

地震等の災害発生時には、地域に根ざした女性の方々による活動が非常に大きな力となります。

女性防火クラブの活動は、他の地域のクラブとの連携や情報交換により、一層

『富岡甘楽女性防火クラブ発足』

富岡甘楽女性防火クラブ会長 土谷 泉

富岡甘楽女性防火クラブは、前身であった富岡甘楽婦人防火クラブの改組により、前防火クラブでは活動を行っていたクラブ員は数人ではあるものの活動を行っていないことを鑑み、令和二年六月十六日に発足した新しい団体です。

広域構成市町村の消防団長及び市町村消防事務担当者に依頼し、地域の火災予防の普及に関心のある女性を推薦していただき、地域におけるイベント開催時に住宅用火災警報器の普及啓発活動、防火啓発活動、高齢者宅へおもむいた防火指導や地域に密着した幅広い活動を行い、安心して暮らせる安全な街づくりに貢献

の充実が期待されます。コロナ禍により、困難な状況が続きますが、ニューノーマルに合致した活動を模索し、クラブ間のつながりを保っていくことが重要だと考えられます。

していくことを目的としています。

また、富岡甘楽女性防火クラブは、保育園やこども園で組織されている「幼年防火クラブ」、小学校で組織されている「少年防火クラブ」とともに「富岡甘楽広域幼少年女性防火委員会」の一翼を担う組織であります。

女性防火クラブ員のほとんどは火災予防啓発に携わったことが無いので、まずは、消防署から火災予防の基礎知識として初期消火訓練等の研修を行っていくとおもっています。女性防火クラブ員が防火、防災に関することを学び防火指導の大切さを知った上で、地域の皆さまでに普及啓発ができるよう取り組んでいきたいとおもいます。

コロナ禍の現状で「富岡甘楽女性防火クラブ」として、どのように火災予防啓発活動していくか模索中ではありますが、ソーシャルディスタンスで社会的な距離は離れても、心と心の距離は離れないよう、女性防火クラブらしい支え合いのある組織を目指して頑張りたいとおもいます。



左：山崎副会長 右：土谷会長

防犯ブザーの救急的活用

桐生市消防本部



桐生市消防本部（以下、当消防本部という。）では、更なる救命率の向上を目的に、当消防本部独自の取り組みである「防犯ブザーの救急的活用」の推進を図っています。

この取り組みは、令和元年五月二十九日、福岡県で開催された第四十二回全国消防職員意見発表会において、当消防本部の職員が、発表テーマ「音で繋がる救命の輪」の中で提言したもので、全国に類を見ない取り組みです。

防犯ブザーの救急的活用とは

小学生などが護身用として所有している防犯ブザーを、急病人等が発生した際にブザーを鳴らし、周りの人達に直ちに駆けつけてもらうための救護の合図として活用するものです。

なぜ、防犯ブザーが有効的であると考えたのか。それは、登下校中など連絡手段を持たない小学生などが、急病人等を見つけた際、防犯ブザーの音により、近隣の大人達を集めることが可能となります。複数の大人が集まれば、119番通報をする人、心肺蘇生法を実施する人、AEDを取りに行く人と役割分担が可能となります。

ます。救命のために必要なことは、一分一秒でも早く心肺蘇生法を実施すること、早い段階で多くの協力者を集めることが必要不可欠となります。

また、防犯ブザーは小学生のみではなく、高齢者や日本語を話すことができない外国人に至るまで誰にでも簡単に取扱いすることが可能です。

なお、色々な場面での活用も可能であると考えております。例えば、畑の中心人で作業をしている場面、部屋の中に一人でおり、家族が別室にいる場面、山で遭難してしまった場面、地震等で倒壊建物に閉じ込められてしまった場面等、多岐にわたる場面において防犯ブザーが有効的に活用できると考えております。

しかし、メリットばかりではなくデメリットもあり、子供が誤って鳴らしてしまう可能性があると、防犯ブザーの音が鳴っても関心がない人が多いこと、肝心な時にバッテリーが切れてしまっていること、鳴らすこと自体に抵抗があること等、防犯の面でも、救急的活用の面でも、今後の課題となっています。このような、デメリットを無くすためにも引き続き広報活動が大事であると考えております。

リーフレットの作成

防犯ブザーの救急的活用のリーフレットを作成し、当消防本部管内の教育機関へ配布しました。今後は、各種団体や行事などへ積極的に出向き、救命の連鎖における早期発見と通報の有効な手段の一つとして認識されるよう、普及啓発に努めます。

動画の公開

当消防本部では、救命率の向上を目的に、防犯ブザーの救急的活用を一般市民に呼び掛ける動画を、YouTubeの「桐生市チャンネル」で公開しました。護身用の防犯ブザーを、急病人等が発生した際に現場で鳴らすことで、周囲の人に駆けつけてもらう様子を三分弱で描きました。この活動に興味を持っていた方は、QRコードを読み取っていただきますと動画のリンクへ繋がります。ぜひ一度、ご視聴ください。よろしくお願いいたします。



防犯ブザーの救急的活用

ご存知ですか？

～音で救える命がある～

桐生市消防本部

救急車を呼ぶときは迷わず119番

防犯ブザーの救急的活用

群馬県殉職消防職団員慰霊祭を挙行

令和二年十一月五日

(木)群馬県消防学校の慰霊碑前において、群馬県殉職消防職団員慰霊祭が新型コロナウイルスの感染拡大防止のため規模を縮小し、消防協会役員・消防関係者など二十名のご参加を頂き厳粛に執り行われました。

群馬県消防協会会長である山本知事は、「この慰霊碑に祭られた方々は、いずれも、消防職団員として職務を遂行する中、身を挺して危険に立ち向かわれ、尊くもその職に殉ぜられた方々です。我々は、殉職された方々の強い正義感と深い郷土愛に崇高な消防精神を規範とし、これまで以上に、災害に強く、安全で安心して暮らせる地域づくりに取り組んでまいりますことを、ここにお誓い申し上げます。」と式辞を述べ、その後、参列者の皆様による献花が行われ、殉職者の御霊に対して敬意を表するとともに、安全・安心への誓いを新たにいたしました。



水難救助訓練



女性消防職員による救助訓練



多数傷病者対応訓練

多野藤岡広域消防本部訓練風景2

群馬県消防協会 支部一覧

支部名	所在地	電話番号
前 橋	〒371-0014 前橋市朝日町4-22-2 前橋市消防局総務課内	027-220-4504
高崎市等広域	〒370-0861 高崎市八千代町1-13-10 高崎市等広域消防局総務課内	027-322-2393
桐 生 広 域	〒376-0027 桐生市元宿町13-38 桐生市消防本部総務課内	0277-47-1701
伊 勢 崎 佐 波	〒372-0031 伊勢崎市今泉町2-895 伊勢崎市消防本部総務課内	0270-25-3511
太 田	〒373-0063 太田市鳥山下町409-1 太田市消防本部消防総務課内	0276-33-0201
利 根 沼 田	〒378-0056 沼田市高橋場町2049-1 利根沼田広域消防本部警防課内	0278-22-3139
館 林	〒374-0015 館林市上赤生田町4050-1 館林地区消防組合消防本部警防課内	0276-72-8361
渋 川	〒377-0008 渋川市渋川1815-51 渋川広域消防本部総務課内	0279-25-4191
多 野 藤 岡	〒375-0024 藤岡市藤岡982 多野藤岡広域消防本部警防課内	0274-22-2306
富 岡 甘 楽	〒370-2316 富岡市富岡1922-7 富岡甘楽広域消防本部警防課内	0274-62-4333
吾 妻	〒377-0805 吾妻郡東吾妻町植栗1174-1 吾妻広域消防本部警防課内	0279-68-0217

県内の消防の現況 (令和2年10月1日現在)

消防団員数	11,315人	(前年比 173人減)
男性	11,141人	(前年比 178人減)
女性	174人	(前年比 5人増)
消防職員数	2,563人	(前年比 19人増)

消防団員募集

お問合せ先：各市町村役場へ



2020年度全国統一防火標語

「その火事を 防ぐあなたに 金メダル」

発 行 所 公益財団法人 群馬県消防協会
前橋市大手町一丁目1番1号
群馬県総務部消防保安課内
TEL 027-220-1338
URL <http://www.gunma-syoubou.jp/>
編集発行人 公益財団法人 群馬県消防協会
常任理事 宮 下 智 夫
印 刷 所 朝日印刷工業株式会社

編 集 後 記

令和2年は、新型コロナウイルス感染症が世界的に拡大し、「緊急事態宣言」が発令されるなど、多くの消防団では火災出動などの現場以外の活動を控えざるを得なくなり、大規模災害に備えるための各種活動が十分にできない日々が続いています。

今後は新型コロナウイルスと共存する社会になり、消防団活動も感染防止を考慮した新しいものになると思いますが、令和3年はコロナウイルスを克服し、消防団活動に「金メダル」が授与される明るい年になればと思います。